



「ふたば」

令和6年度 特別号

(令和7年2月5日)

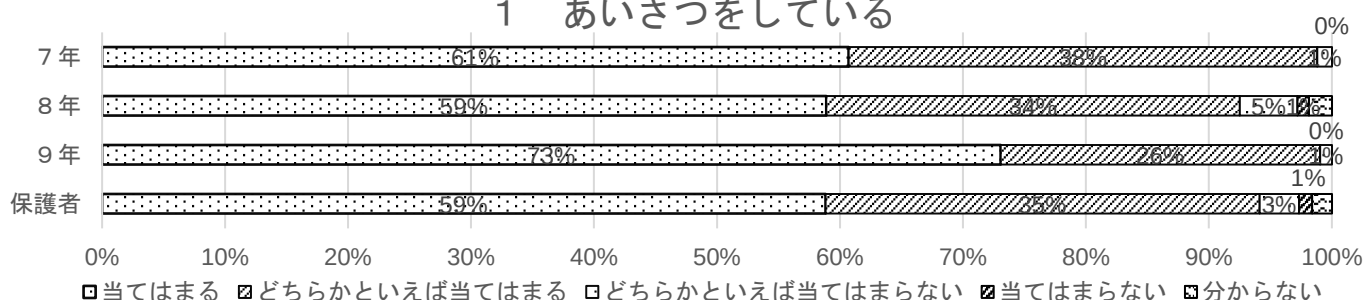
「夢がつながる 学びのエリア」 板橋五小・板橋十小・板橋二中 めざす子ども像

校長 柳澤 忠男

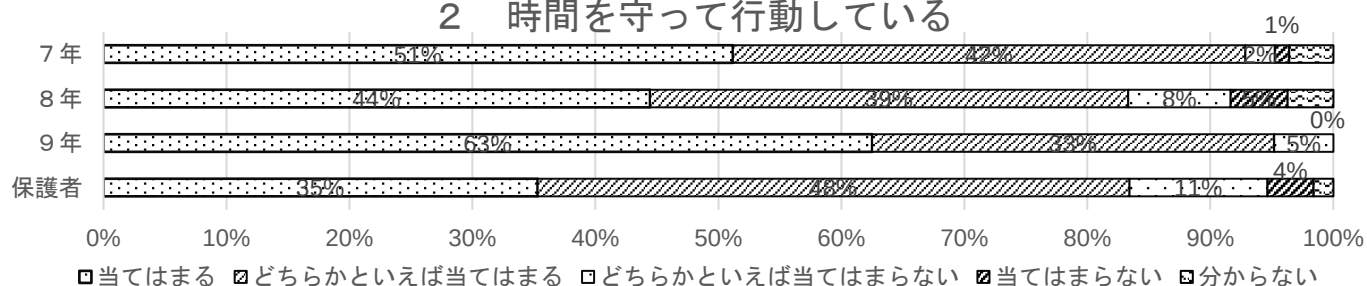
「自ら考えて発信し、心身ともに健康で思いやりのある子」

学校評価保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。回答率は54%でした。生徒へのアンケート結果と併せてご報告いたします。この結果を今後の教育活動の改善に生かしてまいります。

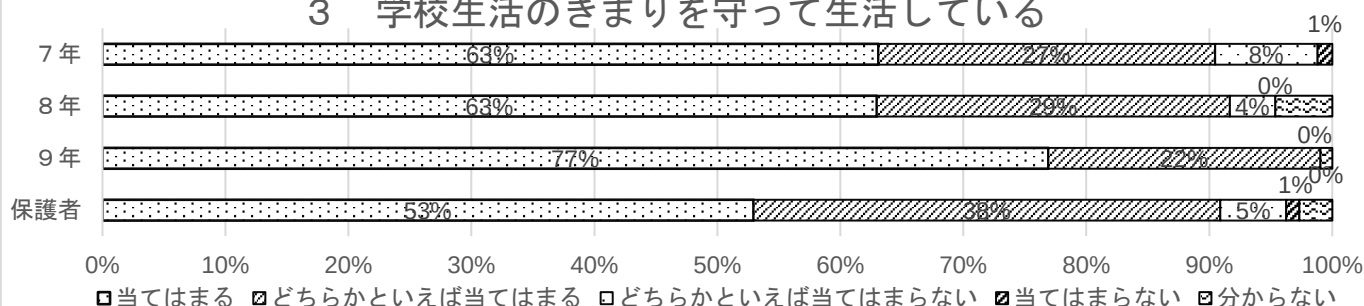
1 あいさつをしている



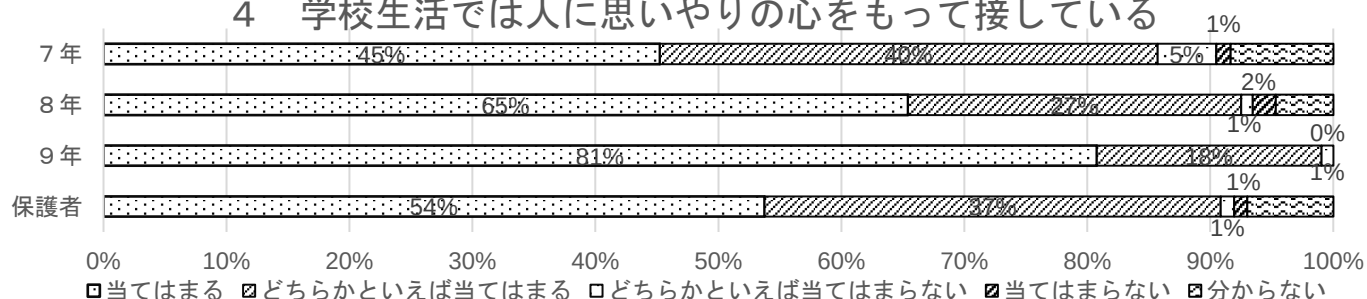
2 時間を守って行動している



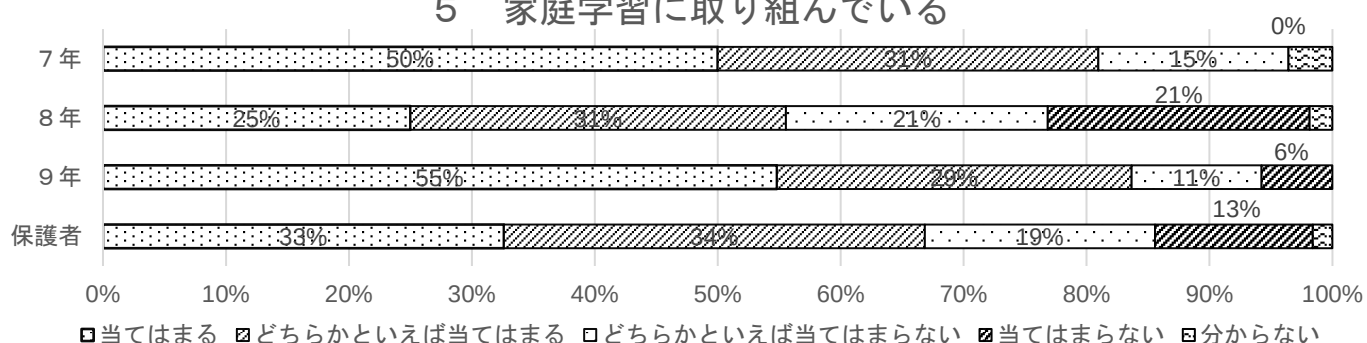
3 学校生活のきまりを守って生活している



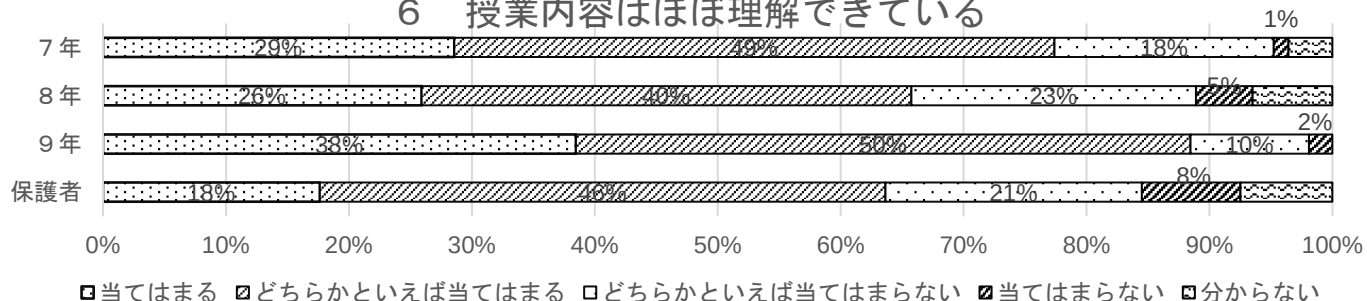
4 学校生活では人に思いやりの心をもって接している



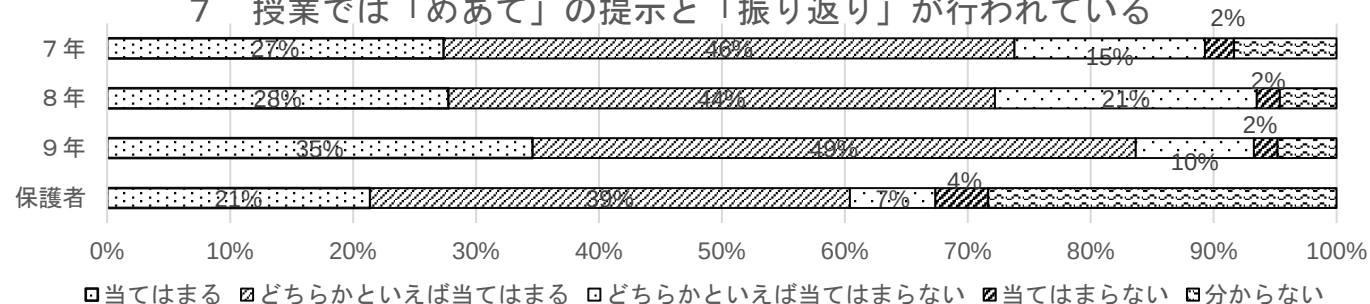
5 家庭学習に取り組んでいる



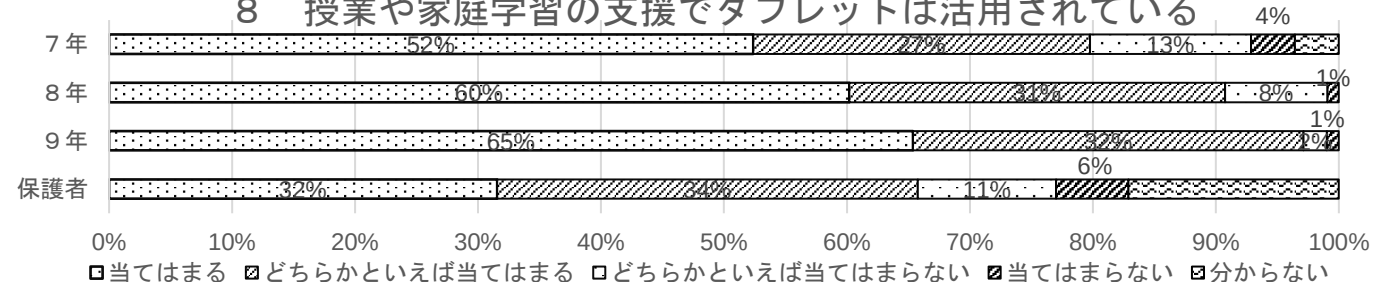
6 授業内容はほぼ理解できている



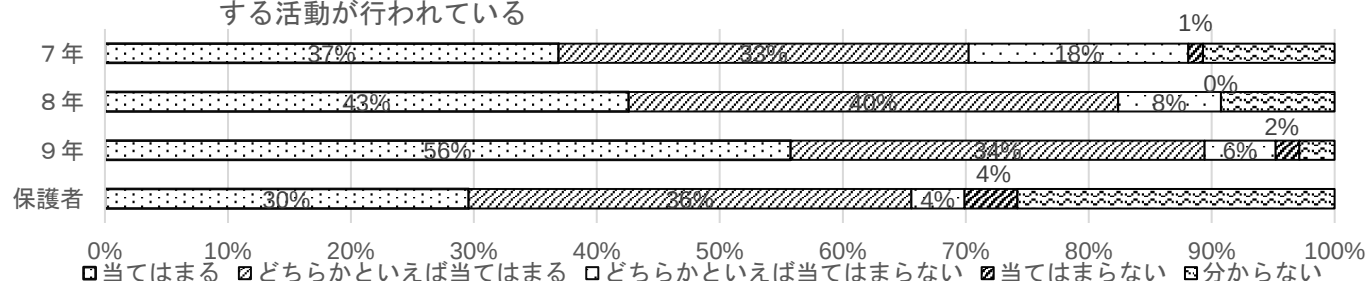
7 授業では「めあて」の提示と「振り返り」が行われている



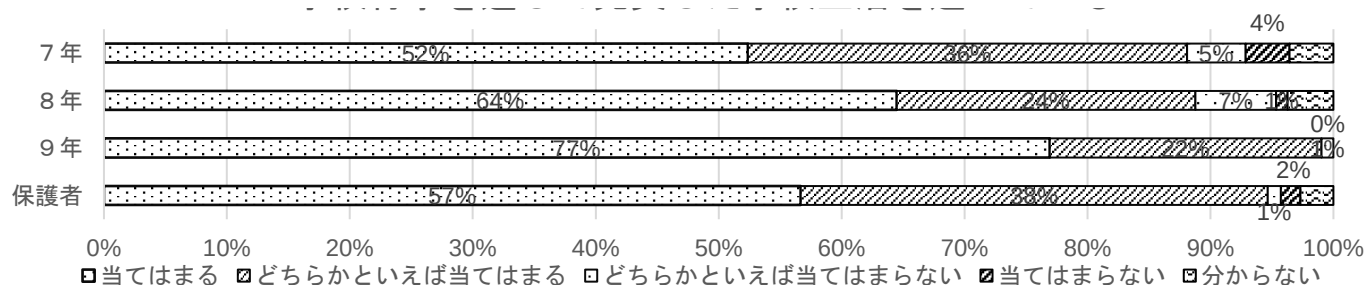
8 授業や家庭学習の支援でタブレットは活用されている



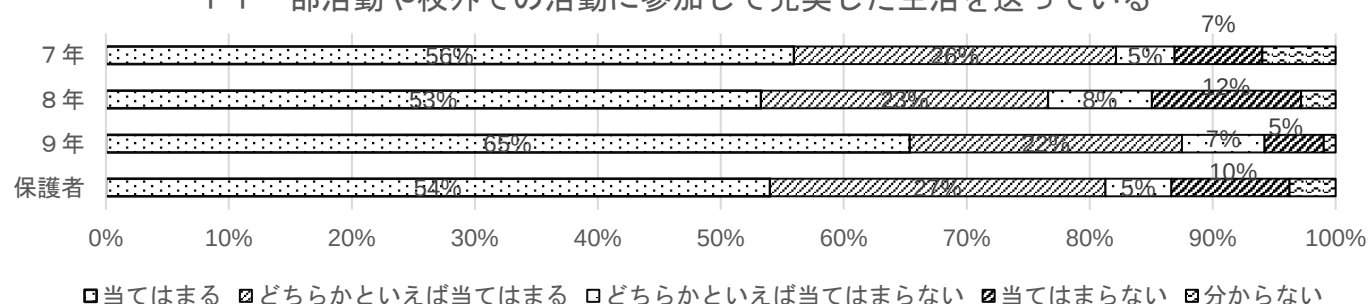
9 総合的な学習の時間では、自分で課題を見付けたて調べたり、発表したりする活動が行われている



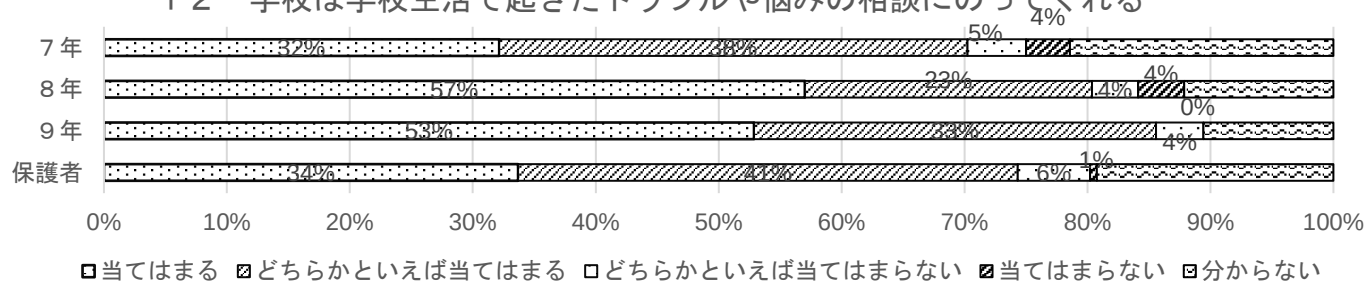
10 学校行事を通して充実した学校生活を送っている



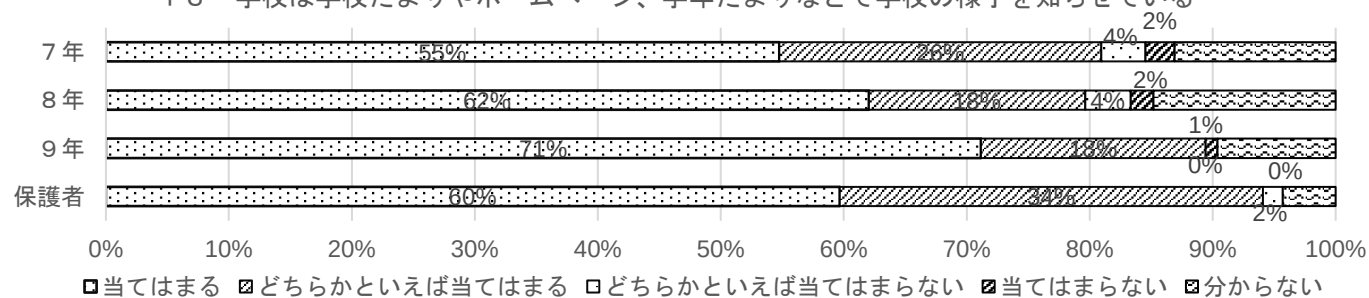
1 1 部活動や校外での活動に参加して充実した生活を送っている



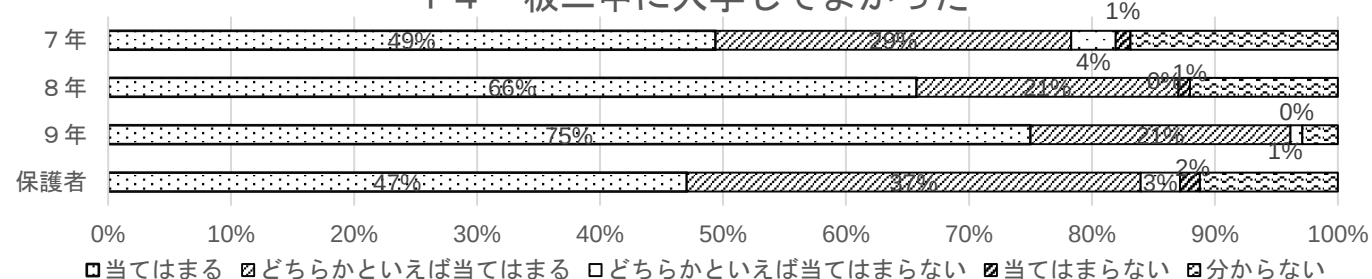
1 2 学校は学校生活で起きたトラブルや悩みの相談にのってくれる



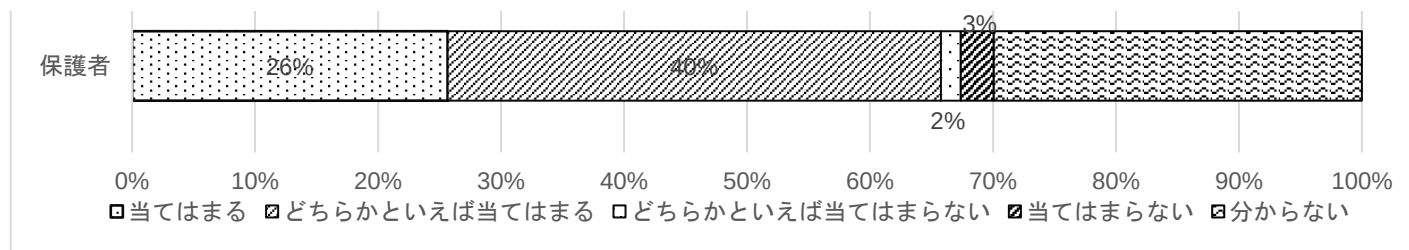
1 3 学校は学校だよりやホームページ、学年だよりなどで学校の様子を知らせている



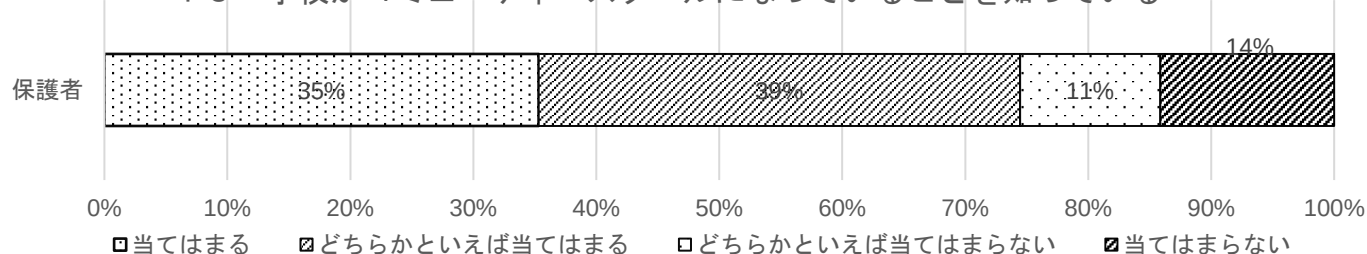
1 4 板二中に入学してよかった



1 5 学校は地域の人材を活用するなど、地域や保護者と連携した教育活動を行っている



16 学校がコミュニティ・スクールになっていることを知っている



<考察>

主に「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答の割合をもとに分析を行いました。

「あいさつ」や「学校のきまり」については各学年の生徒、保護者とも90%以上が肯定的な回答をしており、特に「あいさつ」については7年、9年で99%とあいさつへの意識が高まっています。一方、学習については「家庭学習」について、7年生が家庭学習ノートの取組を始めたためか80%以上の生徒が肯定的な回答をしており、9年生も進路に向けて取り組んでいる様子が見られますが、8年生の40%程度が否定的な回答をしています。「授業内容がほぼ理解できている」についても、保護者の30%程度が否定的に回答していて、7、8年生も20～30%の生徒が否定的に回答しています。昨年度より肯定的回答の下がってしまった「めあて」の提示と「振り返り」を毎回確実に行うなどして、授業内容の確実な理解に努めていきます。「タブレットの活用」については8、9年生で昨年度よりも肯定的回答が増え90%を越えています。

「学校行事を通した学校生活の充実」については、2学期に文化発表会の合唱の取組があったためか生徒の肯定的な回答の割合は90%近くと高くなっています。保護者の方にも見ていただいたため、保護者の方の評価も高くなっています。また、今年度「部活動」を「部活動や校外での活動」として放課後や休日の生活の充実度を聞きました。8年生の20%程度が否定的な回答をしていて7年生で始めた部活動や校外での活動で悩んでいる生徒がいるようです。「悩みの相談」については7年生で「分からない」が20%以上あり、相談した経験がまだないように思われます。相談しやすい体制づくりに努めていきます。「学校だよりやホームページ、学年だよりなどでの発信」については90%以上の保護者の方が肯定的な回答をされています。9年生の生徒は昨年度に比べ肯定的な回答が増えました。生徒の評価を上げるためには、直接生徒が目にする学年だよりを充実させることが大切であると思いました。

「板二中に入学しての満足度」では9年生の満足度は90%を越えましたが、7年時に高かった8年生の数値が下がり、7年生は「分からない」という回答が多く、肯定的回答が80%を下回りました。様々な取組を充実させて、生徒たちが学校に誇りをもてるようにしていきたいと思います。

保護者のみの質問項目である「地域や保護者と連携した教育活動」については「分からない」という回答が昨年度より減り、肯定的な回答が65%を超えました。先日実施した7年生の「職業人の話を聞く会」など地域の人材を生かした教育活動の実施について、さらに情報を発信していきたいと思います。また、「コミュニティ・スクールの認知度」についても肯定的回答が70%を超えました。委員会の開催のたびにホームページや学校だよりで報告をしていますが、引き続きコミュニティ・スクールのよさや協議した内容の教育活動への実現状況を伝えていけるよう努力してまいります。